

ナゴヤ子ども応援会議

～日本で1番子どもを応援するマチ ナゴヤ～



ナゴヤ子ども応援大綱

～日本で1番子どもを応援するマチ ナゴヤ～

ナゴヤ子ども応援大綱に基づく 施策の現状について

歴史や文化を大切にすることを育み、世界にはばたく力を育成！

日本・ナゴヤの歴史や文化の魅力に誇りを持ち、自らのアイデンティティを形づくる地域や家族などを大切に、自分の考えを持ち人前で堂々と話せる、グローバル社会で活躍できる人材を育成します。

名古屋市教育振興基本計画の重点的取組事項を力強く推進！

「グローバル人材育成教育の推進」、「子ども・教育に関する総合的な相談施設の整備」、「歴史の里の整備」など重点施策の着実な推進を図り、特に「学校トイレさわやか改修」については、力強く進めます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に規定する大綱として、上記のとおり定める。

平成27年5月24日

名古屋市長

河村たかし

全ての地方公共団体の首長が定めることを義務付けられた

「地域の教育・学術・文化の振興に関する総合的な施策の大綱」

(平成27年5月24日・ナゴヤ子ども応援会議で策定)



ナゴヤ子ども応援大綱

～日本で1番子どもを応援するまち ナゴヤ～

ナゴヤの目指すべき教育の方向性を 4つの柱で示します。

市長・教育委員会は、ともに大綱を尊重し、
大綱実現のため、努力していきます。

ナゴヤ子ども応援大綱 4つの柱

ナゴヤ子ども応援大綱

～日本で1番子どもを応援するまち ナゴヤ～

「教育」を「Education」へ！

「教」の字の「交」にはみずの意味が入っているといわれている。子どもを交にはめるのではなく、「Education(エデュケーション)」の「エ」は「導く」という意味。「Education」の「エ」は「導く」という意味。「Education」の「エ」は「導く」という意味。「Education」の「エ」は「導く」という意味。

「なごやっ子」の育ちと針路を応援する仕組みを確立！

常勤のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールアドバイザー、スクールボランティア（親近型ボランティア）からなる4職種チームで子どもを応援する。従来の仕組み「なごやっ子応援委員会」を強化して、悩みを解決し、目の前の課題にとどまらない「大きくならなければならない」という将来の針路を応援します。

歴史や文化を大切にすることを育み、世界にはばたく力を育成！

日本・ナゴヤの歴史や文化の魅力を誇りを持ち、自らのアイデンティティを形づくる地域や家族などを大切に、自分の考えを持ち人前で堂々と語る、グローバル社会で活躍できる人材を育成します。

名古屋市教育振興基本計画の重点的取組事項を力強く推進！

「グローバル人材育成教育の推進」、「子ども・教育に関する総合的な地域政策の整備」、「歴史のまちづくり」など重点的取組事項を力強く推進し、特に「学校トイシロやが改修」については、力強く進めます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に規定する大綱として、上記のとおり定める。

平成27年5月24日

名古屋市長 河村たかし



「教育」を「Education」へ！

「教」の字の「攴」にはムチの意味が入っているとされている。子どもを型にはめるのではなく、「Education（e＝外へ、duce＝引っばること。）」の精神のもとで、「教え込む」授業ではなく、「子どもが考え、自ら学ぶ」授業を推し進め、子どもたちに内在する生きる力を引き出し、人生を応援します。



主体的・対話的な学習を通じ、
社会で活躍するための幅広い学力を
育てます。

なかまと学びを深める授業づくり

なかまなビジョン

なかまとの対話

主体的な学び

授業に対するビジョン

なかまなビジョンは、アクティブ・ラーニングの視点を重視します。

なかま

【対話的な学び】

対話の中でも、特になかまとの対話を大切にします。

学び

【主体的な学び】

めあてと振り返りを大切に
にした主体的な学びを目指
します。

ビジョンを

もった授業を通して

【深い学び】

課題解決的な学習を通し
て、どのような力を付ける
のかという授業に対する
ビジョンをもち、深い学び
を目指します。

「なごやっ子」の育ちと針路を応援する仕組みを確立！

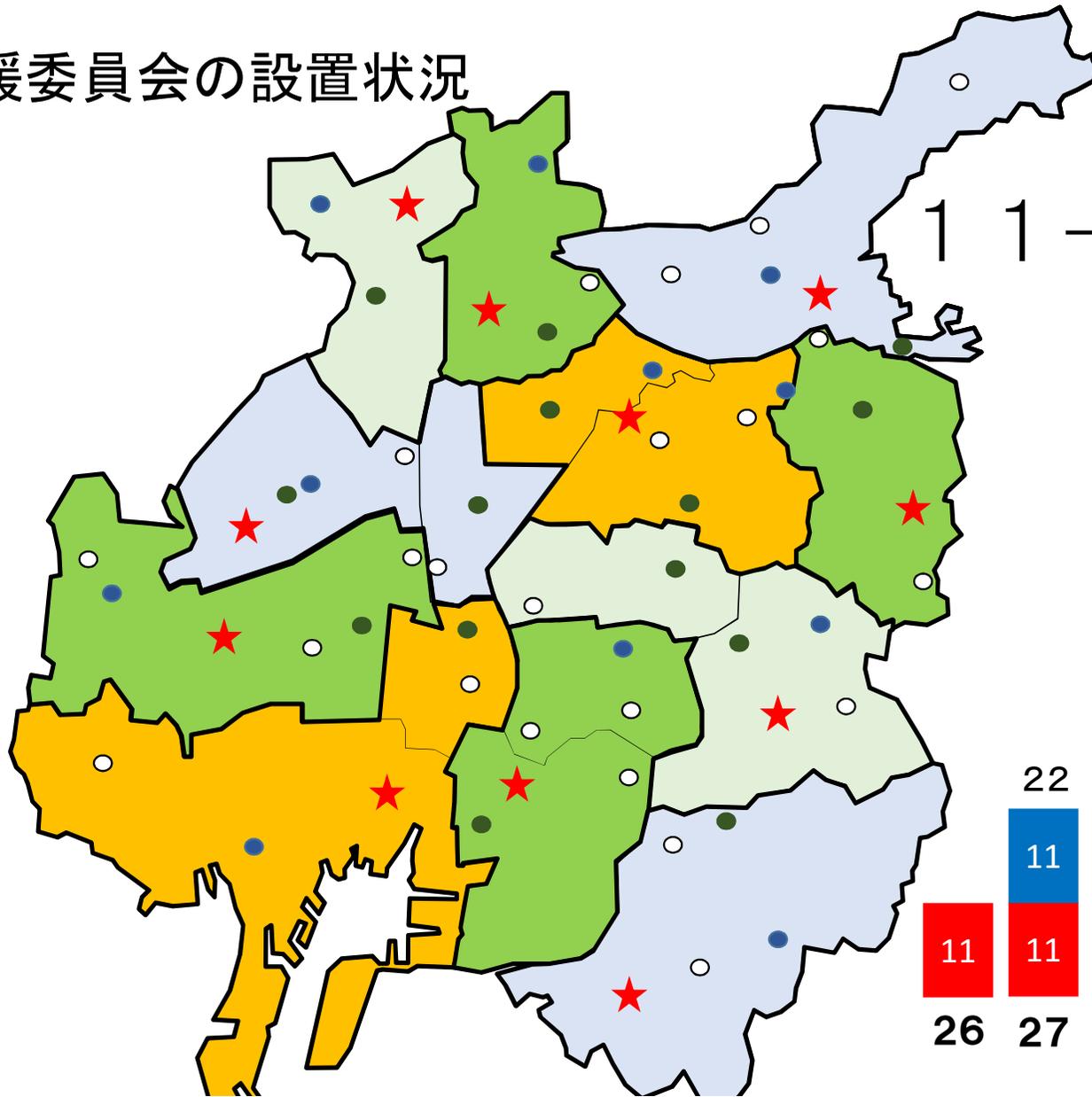
常勤のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールアドバイザーとスクールポリス（現在は非常勤）からなる4職種のチームで子どもを応援する日本初の仕組み「なごや子ども応援委員会」を確立して、悩みを解決し、現在の進路にとどまらない「大きくなったら何になるの？」という将来の針路を応援します。

また、貧困問題に起因して深刻化する子どもの問題に正面から全庁的に取り組みます。



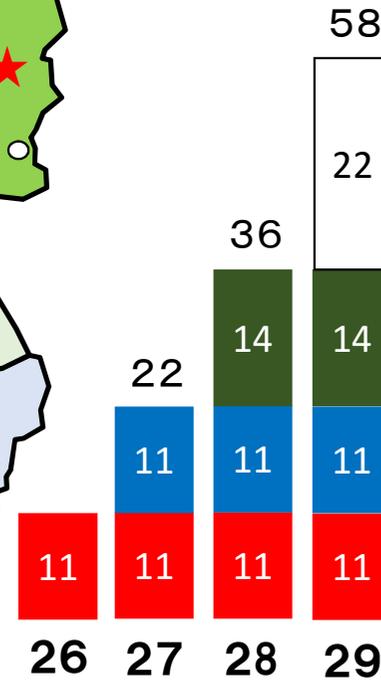
専門知識や経験を活かして子どもたちを応援します！

子ども応援委員会の設置状況

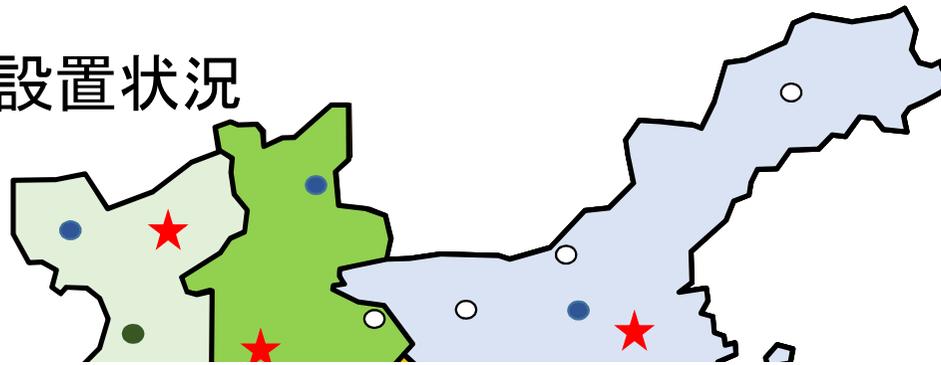


11 → 58校へ拡充

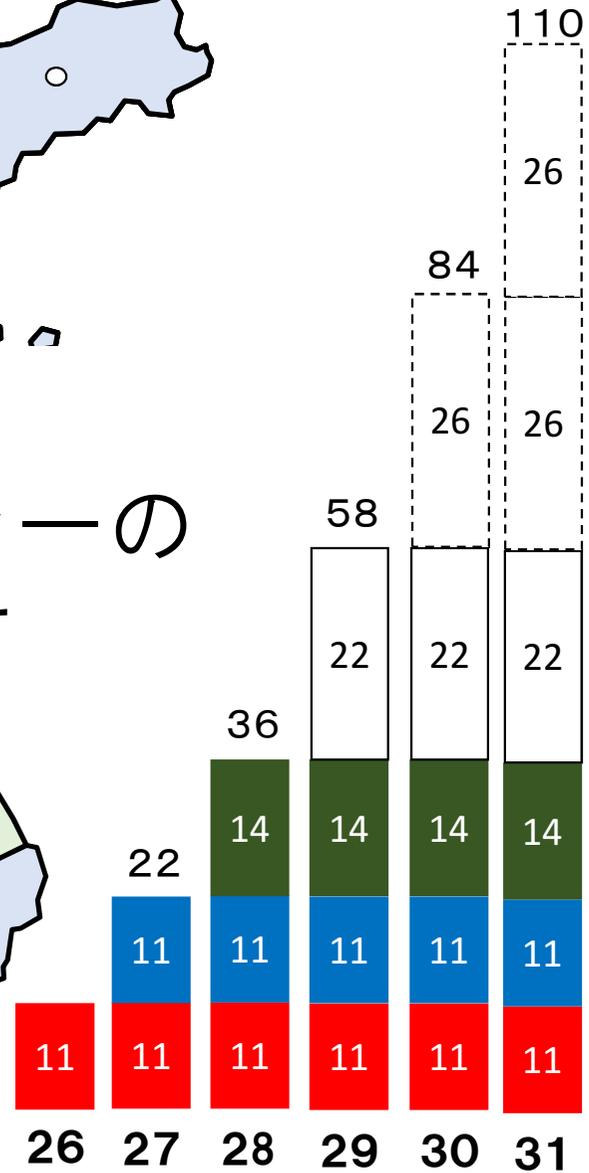
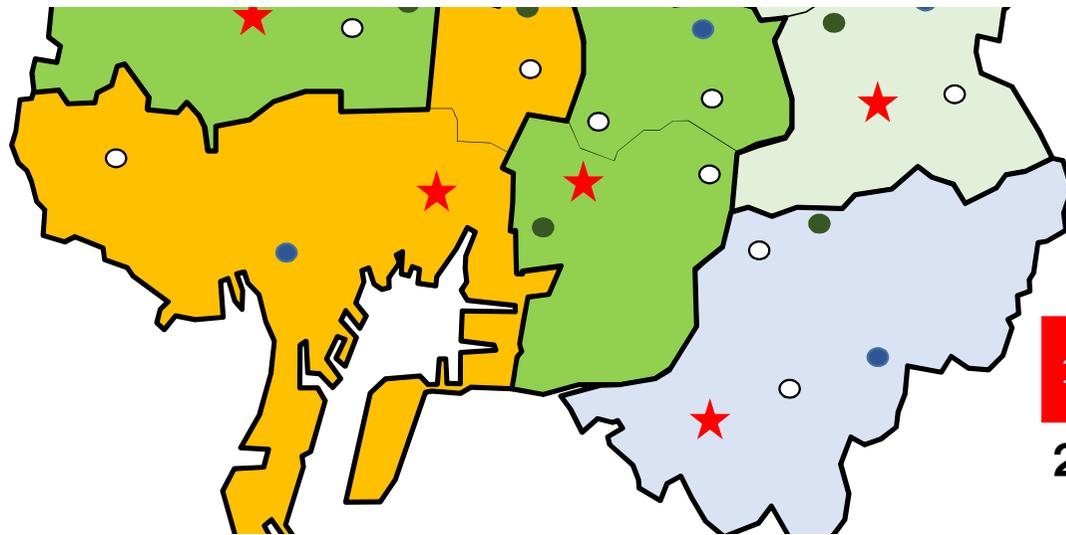
(カウンセラー配置中学校数)



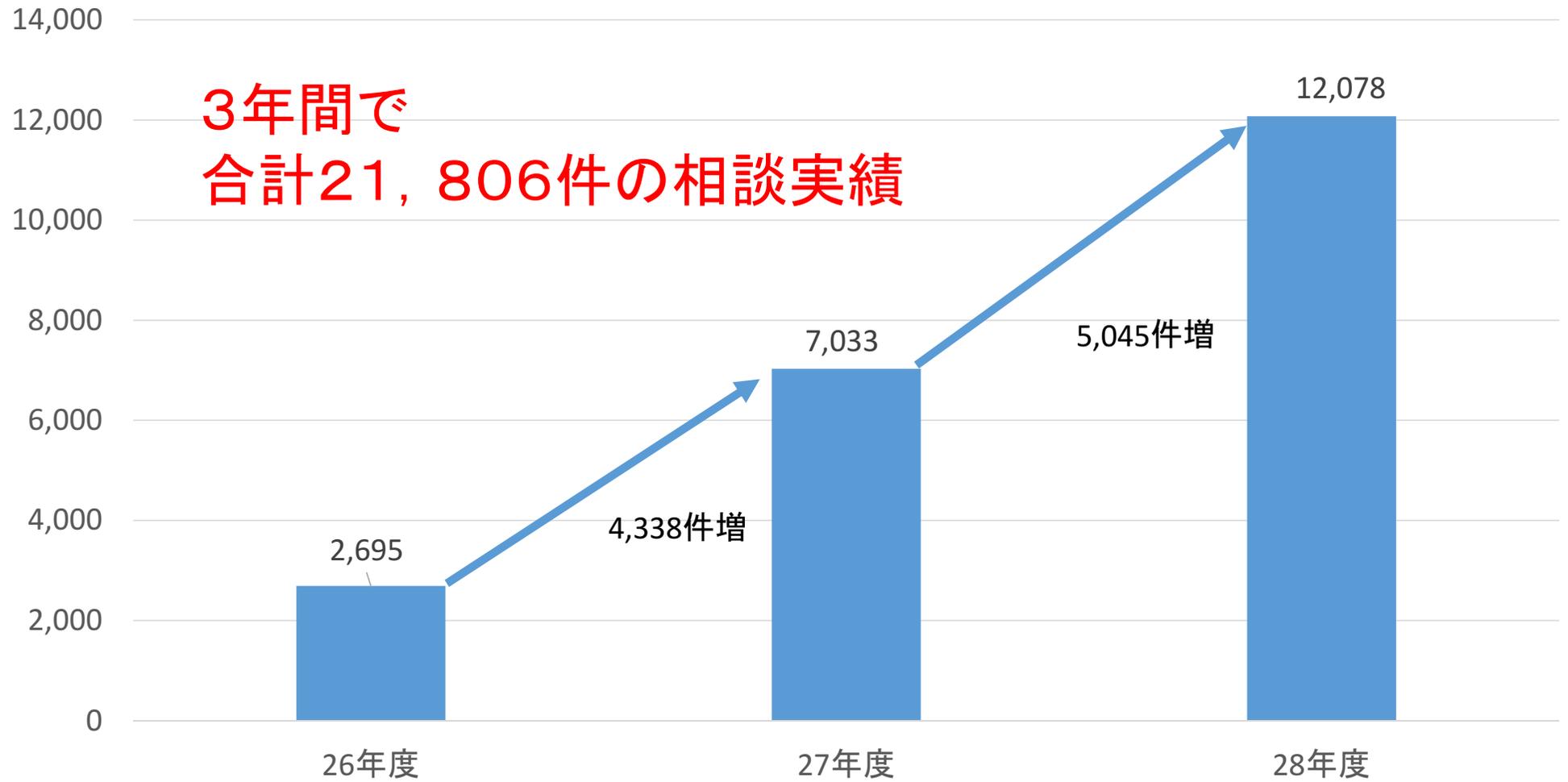
子ども応援委員会の設置状況



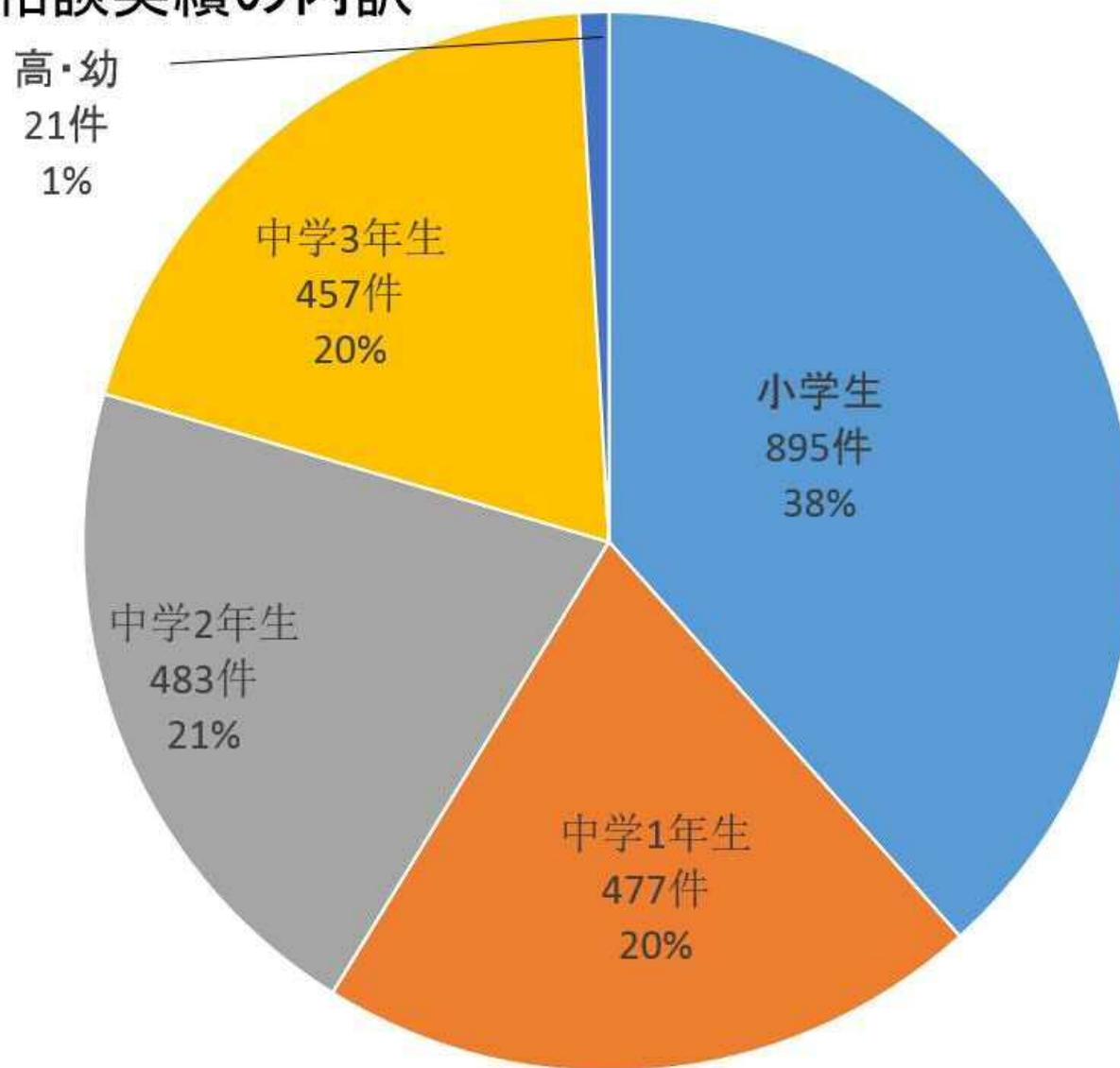
平成31年度までに
常勤のスクールカウンセラーの
全中学校校配置を目指します



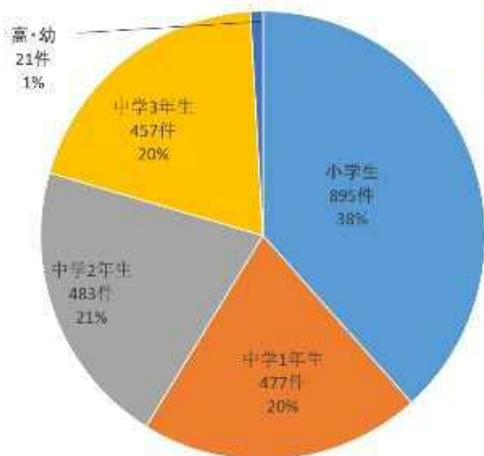
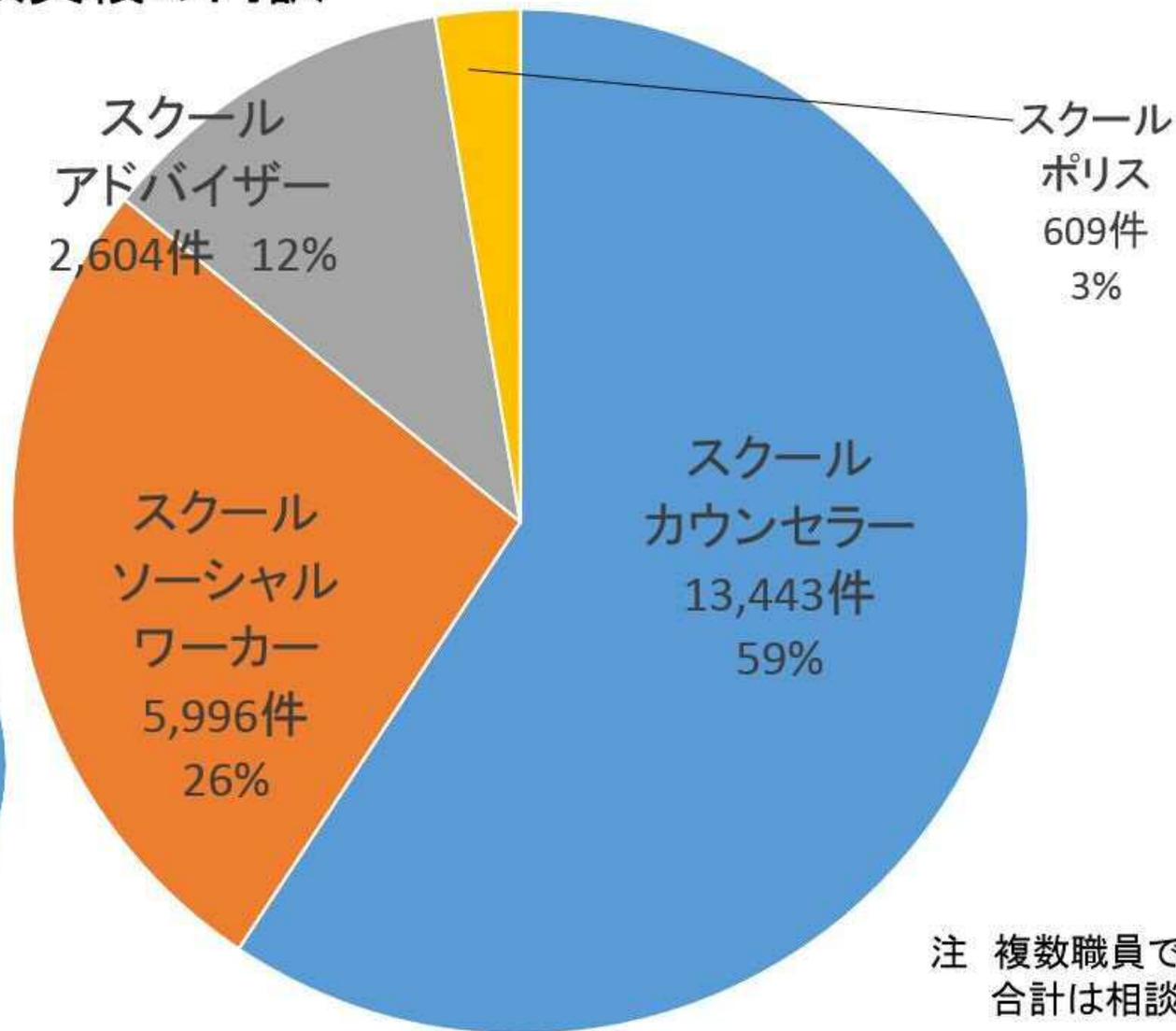
子ども応援委員会の相談実績



平成28年度の相談実績の内訳



平成28年度の相談実績の内訳



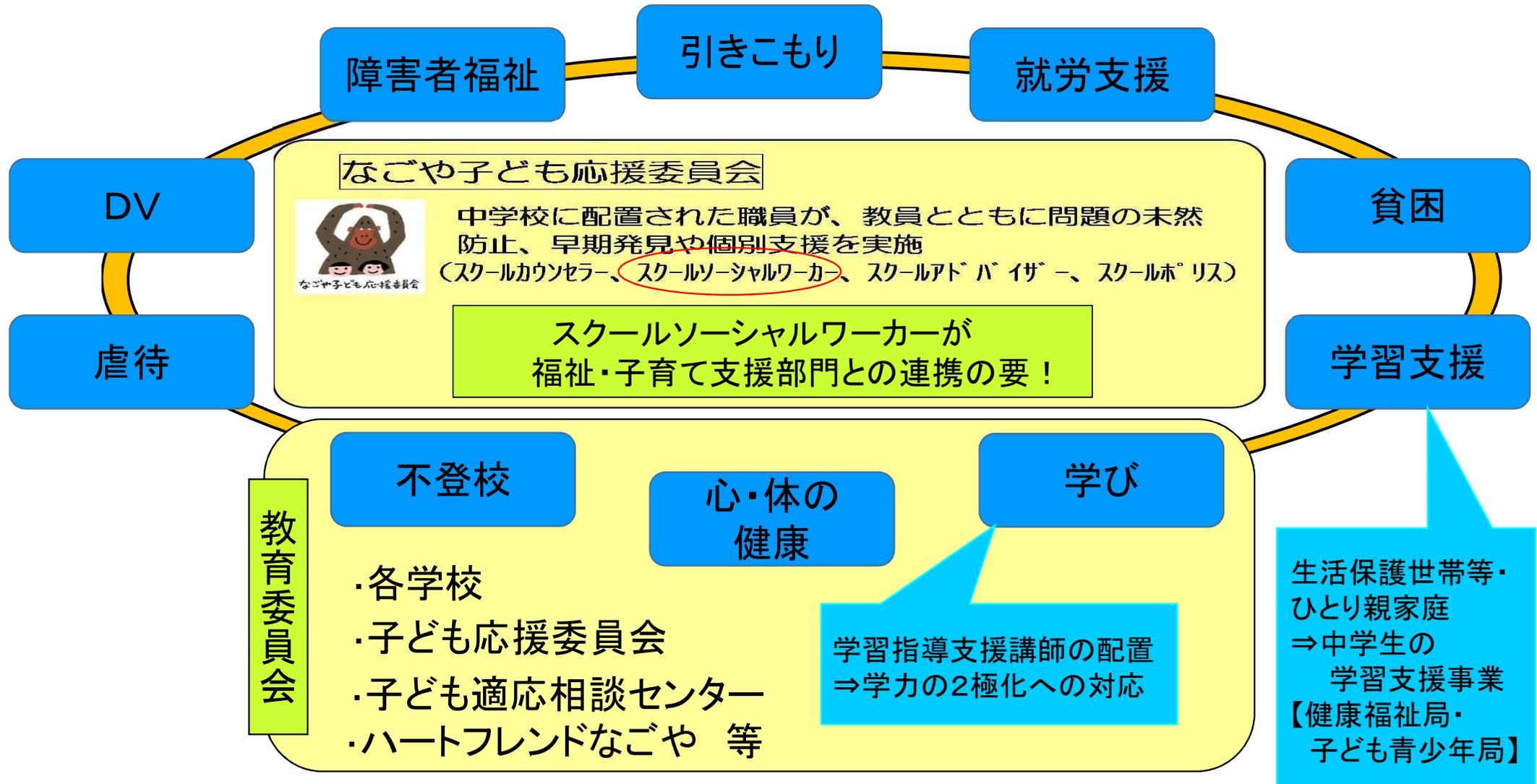
注 複数職員で対応する場合があります、合計は相談実績合計と異なる

平成28年度の相談実績の内訳

内容	不登校	精神的不安	家庭の問題	学校不適応	発達障害	友人関係	虐待
件数 (件)	4,661	1,675	1,521	1,071	834	645	223
割合 (%)	38.6	13.9	12.6	8.9	6.9	5.3	1.8

内容	教職員への支援	いじめ	非行	病気が	進路関係	教職員の指導	その他
件数 (件)	206	200	153	82	75	63	669
割合 (%)	1.7	1.7	1.3	0.7	0.6	0.5	5.5

親と子どもの総合的な応援の仕組み



「なごやっ子」の育ちと針路を応援する仕組みを確立！

常勤のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールアドバイザーとスクールポリス（現在は非常勤）からなる4職種のチームで子どもを応援する日本初の仕組み「なごや子ども応援委員会」を確立して、悩みを解決し、目の前の進路にとどまらない「大きくなったら何になるの？」という将来の針路を応援します。

また、貧困問題に起因して深刻化する子どもの問題に正面から全庁的に取り組みます。

①小中学校の児童生徒に対する就学援助

学校教育法第19条

経済的によって、就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。



全国の市町村で小中学校の児童生徒への就学援助を実施

②高等学校の生徒に対する就学奨励

学校教育法
義務規定なし



名古屋市独自施策

○入学準備金貸付制度

○給付型奨学金制度
※平成29年度新設



平成29年度 名古屋市奨学金 (高等学校給付型奨学金)について

趣旨

経済的理由によって修学が困難な方に対し、必要な学費を支給する制度です。返済は必要ありません。

支給対象

(7月1日現在で次の要件を満たしていることが必要です)

- ✓ 生徒本人及び保護者が名古屋市内に在住していること
- ✓ 愛知県内の高等学校・中等教育学校に在学していること(1年生が対象です)
- ✓ 市民税(所得割)非課税世帯であること(生活保護世帯は除きます)(県奨学給付金との併給も可能です)
- ✓ 学業その他の活動で努力が認められる者であること(各校において学校長が推薦)



支給人数 1年生 1,000名

支給額 年額 ●国公立 60,000円 ●私立 72,000円

手続き 2学期以降に学校を通じ申請。詳細は別途案内します。

お問い合わせ 名古屋市教育委員会学事課 ☎052-972-3385



支給対象

(7月1日現在で次の要件を満たしていることが必要です)

- ✓ 生徒本人及び保護者が名古屋市内に在住していること
- ✓ 愛知県内の高等学校・中等教育学校に在学していること(1年生が対象です)
- ✓ 市民税(所得割)非課税世帯であること(生活保護世帯は除きます)(県奨学給付金との併給も可能です)
- ✓ 学業その他の活動で努力が認められる者であること(各校において学校長が推薦)

支給人数 1年生 1,000名

支給額 年額 ●国公立 60,000円 ●私立 72,000円

歴史や文化を大切に作る心を育み、世界にはばたく力を育成！

日本・ナゴヤの歴史や文化の魅力に誇りを持ち、自らのアイデンティティを形づくる地域や家族などを大切に、自分の考えを持ち人前で堂々と話せる、グローバル社会で活躍できる人材を育成します。



歴史の里の整備

誰もまだ本当の古墳時代を知らない…



歴史の里 しだみ 古墳群



平成30年度末
オープン予定



名古屋市歴史文化基本構想
平成29年3月

名古屋市歴史文化基本構想

私たちのまちの文化財「知る」「伝える」「活かす」

知る

地域の文化財を知る 新たな価値の発見・掘り起こし

- ・地域の関連文化財群の周知
- ・地域の文化財データベースの公開
- ・地域の文化財の価値を高める調査研究

伝える

地域の文化財を未来へ伝える

- ・小中学生に向けた地域の文化財学習
- ・地域の文化財の保存技術の継承
- ・地域の文化財の担い手の育成

活かす

地域の文化財を活かす 学びから発信へ

- ・関連文化財群を市民参加で検証・新設
- ・関連文化財群を活かした地域の文化財の魅力発信
- ・地域の文化財を体感する仕組みの構築



土曜学習
プログラム



文化財講演会



町並みガイド
ボランティア

地域のたからを守り、育む、魅力あるまちの実現を目指していきます。



ナゴヤの歴史・文化の魅力に
誇りを持ち、**郷土愛の確立**を目指します。

歴史や文化を大切にすることを育み、世界にはばたく力を育成！

日本・ナゴヤの歴史や文化の魅力に誇りを持ち、自らのアイデンティティを形づくる地域や家族などを大切にし、自分の考えを持ち人前で堂々と話せる、グローバル社会で活躍できる人材を育成します。

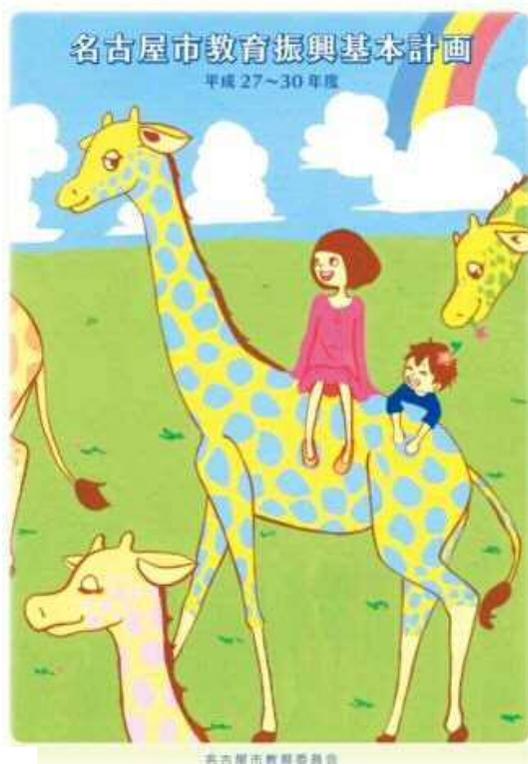


国際社会で通用する

知識・コミュニケーション能力を身に付けさせ、
グローバル社会で生きる力を育成します。

名古屋市教育振興基本計画の重点的取組事項を力強く推進！

「グローバル人材育成教育の推進」、「子ども・教育に関する総合的な相談施設の整備」、「歴史の里の整備」など重点施策の着実な推進を図り、特に「学校トイレさわやか改修」については、力強く進めます。

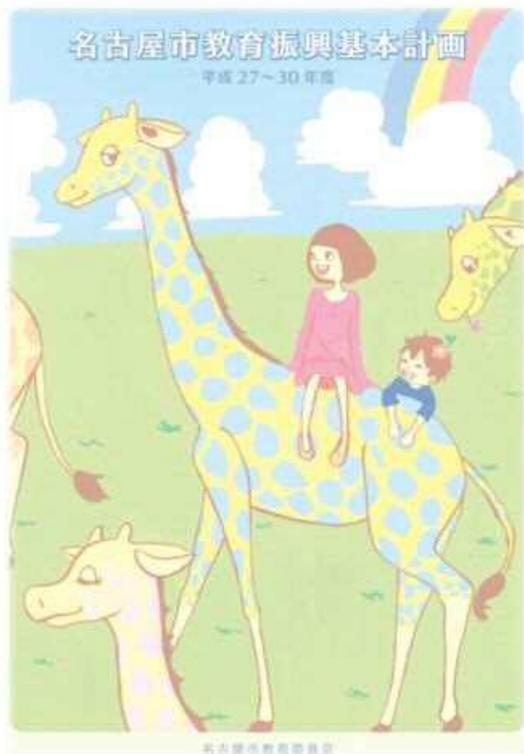


子どもの豊かな学びや教育環境の整備、
生涯を通じた学びの提供・支援など
名古屋市の教育の振興に関する計画

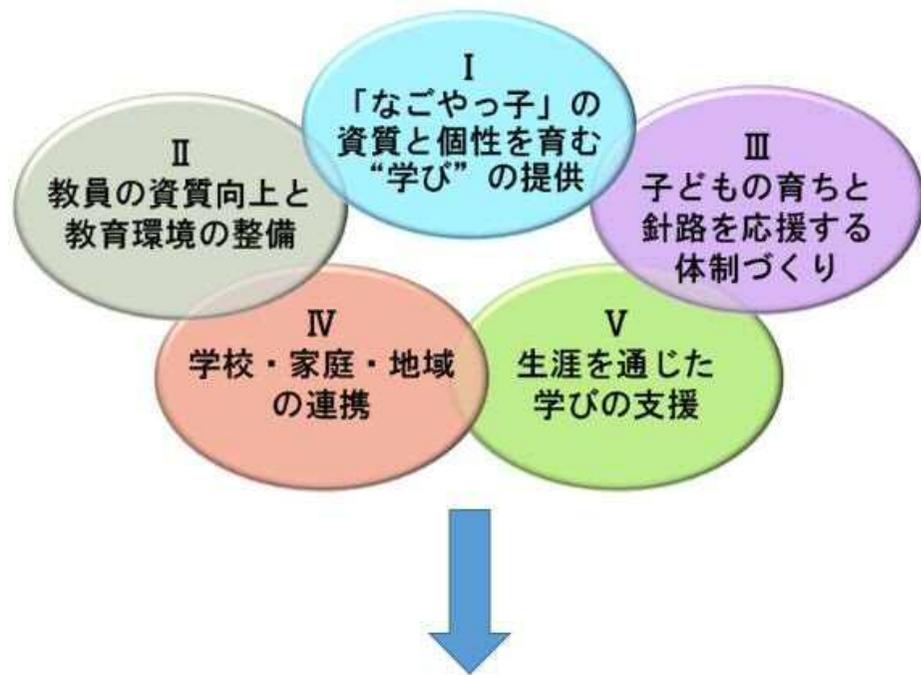


名古屋市教育振興基本計画の重点的取組事項を力強く推進！

「グローバル人材育成教育の推進」、「子ども・教育に関する総合的な相談施設の整備」、「歴史の里の整備」など重点施策の着実な推進を図り、特に「学校トイレさわやか改修」については、力強く進めます。



5つの基本的方向



19施策・約150事業

名古屋市 学校施設リフレッシュプラン(平成29年7月策定予定)

計画期間:平成29年度～平成62年度(34年間)

○策定の趣旨

老朽化の進展に伴い更新需要の高まる学校施設について、限られた予算で安心・安全・快適な教育環境を確保していくため、今後の維持管理・更新について基本的な考え方を取りまとめるもの。

名古屋市 学校施設リフレッシュプラン(平成29年7月策定予定)

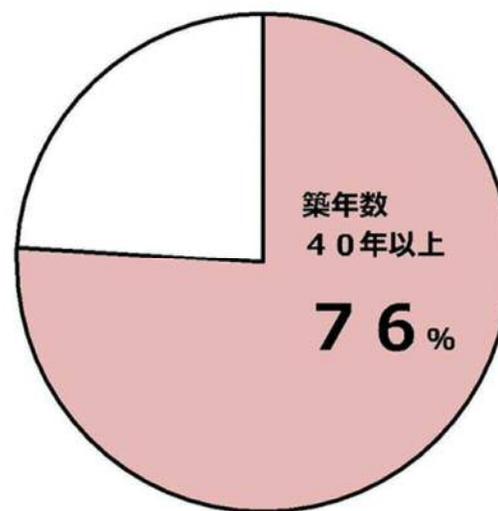
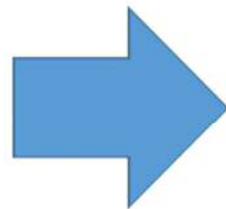
計画期間:平成29年度～平成62年度(34年間)

○現状と課題

1 施設(校舎) ※延床面積



平成28年度



平成34年度

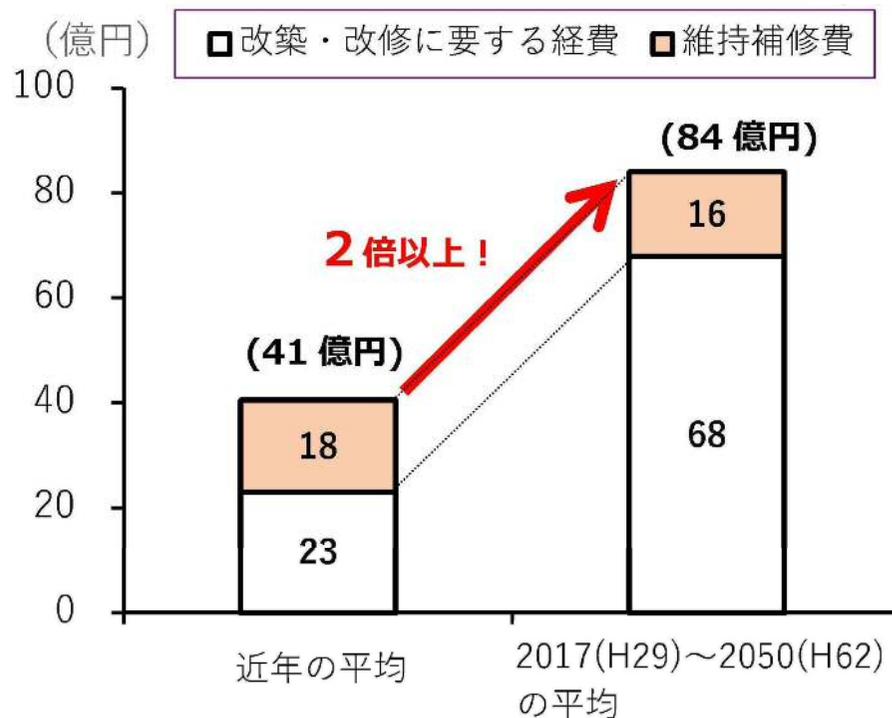
⇒学校施設は老朽化が進行しています。

名古屋市 学校施設リフレッシュプラン(平成29年7月策定予定)

計画期間:平成29年度～平成62年度(34年間)

○現状と課題

2 財政(学校の整備費) ※一般財源



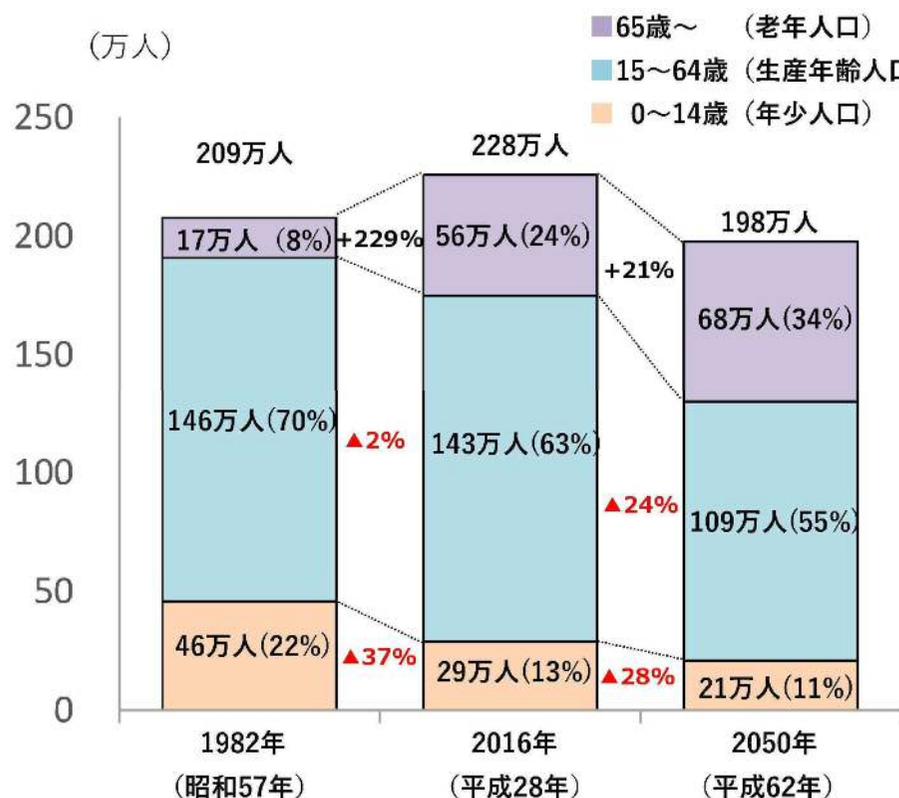
⇒従来手法で整備すると、
今後経費が多大になります。

名古屋市 学校施設リフレッシュプラン(平成29年7月策定予定)

計画期間:平成29年度～平成62年度(34年間)

○現状と課題

3 人 口



⇒ 少子高齢化がますます進むことが見込まれます。

⇒ 今後、整備手法などを見直さなければ、安心・安全・快適な環境が確保できなくなります。

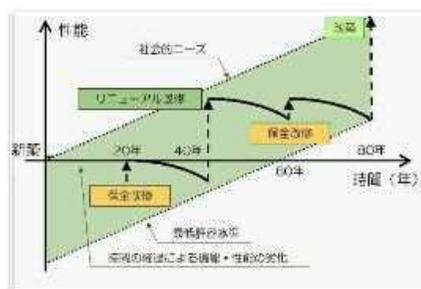
名古屋市 学校施設リフレッシュプラン(平成29年7月策定予定)

計画期間:平成29年度～平成62年度(34年間)

①学校施設の目指すべき姿

財政的に持続可能な範囲で、
安心・安全・快適な環境が確保された学校施設

②基本的な整備サイクル



■外観(正門側)



(改修前)



(改修後)

③長寿命化によりできること

- ① 教育環境の早期改善
- ② 「事後保全」から「予防保全」への転換
- ③ 社会的ニーズの変化への対応

教育振興基本計画

- ⑥ 個に応じたきめ細かな指導により、基礎基本を着実に身につけさせるとともに、幅広い学力を伸ばします。

○道徳の教科化

小学校 平成30年4月から
中学校 平成31年4月から

○小学校英語の教科化 平成32年4月から

○小学校段階における プログラミング教育の実施 平成32年4月から



教育振興基本計画

⑦ 特別な支援を必要とする子どもの自立や社会参加に向けた力を育みます。

○平成28年4月障害者差別解消法施行
⇒合理的配慮の提供が義務化

○合理的配慮を提供できる体制の整備

⇒介助支援が必要な
幼児・児童・生徒への支援

⇒発達障害への支援

⇒医療的ケアの必要な
幼児・児童・生徒への支援



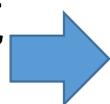
教育振興基本計画

⑧ いじめや不登校の未然防止と、早期発見・解決に取り組めます。

○インターネット上におけるいじめ対策

① ネットパトロールの実施

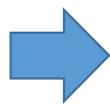
・生命に関わる表現が含まれるものや個人が特定される内容等を検索



・委託業者から教育委員会に報告
・必要に応じて学校にも情報提供

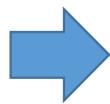
リスクが高いと報告された件数
831件(28年度:重複の報告を含む)

② 不適切な書き込みを発見



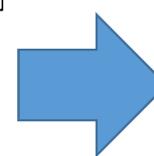
・法務局、警察との連携

③ 不適切な書き込みの削除



・業者からプロバイダー管理業者へ削除依頼。

平成28年度は、5件削除



児童・生徒がいじめの被害者・加害者となることを防ぐ。

教育振興基本計画

⑧ いじめや不登校の未然防止と、早期発見・解決に取り組めます。

○情報モラル教育の推進

名古屋市くすのきネット ホームページ
「親子で学ぶ情報モラル」のページを設置



ナゴヤ子ども応援大綱～日本で1番子どもを応援するまち ナゴヤ～

ナゴヤ子ども応援大綱

～日本で1番子どもを応援するまち ナゴヤ～

「教育」を「Education」へ！

「教」の字の「攴」にはムチの意味が入っているとされている。子どもを型にはめるのではなく、「Education（e＝外へ、duce＝引っぱること）」の精神のもとで、「教え込む」授業ではなく、「子どもが考え、自ら学ぶ」授業を推し進め、子どもたちに内在する生きる力を引き出し、人生を応援します。

「なごやっ子」の育ちと針路を応援する仕組みを確立！

常勤のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールアドバイザーとスクールポリス（現在は非常勤）からなる4職種のチームで子どもを応援する日本初の仕組み「なごや子ども応援委員会」を確立して、悩みを解決し、目前の迷路にとどまらない「大きくなったら何になるの？」という将来の針路を応援します。
また、貧困問題に起因して深刻化する子どもの問題に正面から全力的に取り組みます。

歴史や文化を大切にすることを育み、世界にはばたく力を育成！

日本・ナゴヤの歴史や文化の魅力に誇りを持ち、自らのアイデンティティを形づくる地域や家族などを大切にし、自分の考えを持ち人前で堂々と話せる、グローバル社会で活躍できる人材を育成します。

名古屋市教育振興基本計画の重点的取組事項を力強く推進！

「グローバル人材育成教育の推進」、「子ども・教育に関する総合的な相談施設の整備」、「歴史の里の整備」など重点施策の着実な推進を図り、特に「学校トイレさわやか改修」については、力強く進めます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に規定する大綱として、上記のとおり定める。

平成27年5月24日

名古屋市長

河村たかし

市長・教育委員会
双方の尊重義務のもと、
力強く進めていきます。